



紺野康文 咲坂雪乃 成田教子 岡 夏海 富岡純子 瀬川新一 加藤繁木 丸尾 聡



矢野晴彦 増山浩一 岡 政樹 小嶋 章 佐々木 智 望月大助 吉原清司 上泉和三 仙頭美峯

劇団「空間演技」Vol.47

小劇場版 嗚呼・冒険王

作・演出/岡部耕大

小劇場版「嗚呼・冒険王」!!
 昨年、下北沢ザ・スズナリで「籠城」を上演してから一年が過ぎました。「籠城」公演では久しぶりに「嗚呼・冒険王」の予告編をやったのですが、それが実現するかどうかは半信半疑でした。一年間で、劇団「空間演技」がこれほどの大掛かりな公演ができる体制を整えたことに驚いています。やはり、持続することのみが力を発揮することのようです。「嗚呼・冒険王」は1994年、松竹との提携で「岡部企画」がプロデュース公演したものです。「これを小劇場版でやった面白い」とは、だれも口にしたことですが、まさか、こう早くにそれが実現するとは考えておりませんでした。劇団「空間演技」は、その激しさとロマン溢れる舞台上で小劇場では定評のある劇団です。「修羅場にて候」は、小劇場の伝説の舞台として今も語り継がれています。今回の「嗚呼・冒険王」は権力者への復讐劇です。「もし幸徳秋水に落し胤がいたら」という奇抜な発想から構想し始めたのが、「この「嗚呼・冒険王」です。暗く沈みがちな事件が重なる平成の時代を冒険活劇で笑い飛ばし、演劇の持つ活力をもう一度呼び戻すことはできないか。「嗚呼・冒険王」は、すべての観客が待ち望んでいた、「歌あり踊りありのスペクタクル冒険人間活劇」であり、「痛快な復讐譚」です。劇団「空間演技」の新旧の俳優たちが一丸となって立ち向かいます。「君を必ず熱くしてみせる」。劇場でお待ちしております。

岡部耕大・劇団員一同

へものがたり
 明治三十七年二月、日本は自国と比較にならぬ強大ロシアに宣戦布告した。緒戦の日本軍の勝利に続き、十二月には旅順のロシア要塞を苦心のすえ攻め落とし、翌三十八年五月にはバルチック艦隊を日本海に破った。日本中が提灯行列で沸き立ったのである。号砲が轟き、爆竹と人並みが祝勝気分を煽る。賀正が大徳寺の境内に捨てられていたのは、そんな夜だった。大徳寺は箱根連山の迫る温泉街、湯河原の外れにひっそりと闇に浮かんでいる。生まれたばかりの賀正は、微笑んでいるばかりで、賀正を見つけた大徳寺住職寛山も「肝の座った男よ」とあきれられるほどであった。賀正のふところの手紙は「不憫なこの子の父は高知県幡田郡中村の人、家は菓種商と酒屋を営み、奥書院や回廊、式台つきの富裕な商家にて、幕末の勤王志士の流れをくむ漢詩人……」。明治三十八年の一月元旦に生まれたと書いてあった。
 「正月元旦の生まれとなあ。まずはめでたい、よし、この子の名前は今日から賀正だ。」のちの冒険王賀正の誕生である。
 賀正はすくすくと育っていた。大変な健脚家で、天狗のように山を走り、博覧強記、抜群の記憶力を兼ね備えていた。古本屋で「太平記」を見て買いたくなかったが、貧乏寺の子供には手が出ない。やむを得ず、小学校の帰りに三枚、五枚と「太平記」を立ち読みして帰り、暗記したものを書き写して半年で全五十巻を写し終えた。このことが町中で大評判となり、人間業ではないと絶賛された。寛山は大徳寺を政談演説会場に開放していた。民権の壮士連中は、この講壇に立つて官憲横暴の非を鳴らし、群衆の喝采を博していた。古びた本堂から壮士の怒号がきこえてくる……。
 突然、大徳寺の門が蹴破られ、日本刀を帯びた官憲が、どつと闖入してきた。寛山はじめ壮士達はつぎつぎと捕縛され、引き立てられた。屋根裏から、それを見ていた賀正は「仇は、俺が討つ」と子供心にも決心する。鬼島令と呼ばれた薩摩藩士出身の黒柳鉄平の民権弾圧は、この時頂点に達したのである。
 賀正、天涯孤独のこの男は、大胆不敵、荒唐無稽、抱腹絶倒に明治、大正から昭和の初期に生きた。人々は「幸徳秋水の落し胤ではなかったか」「あれこそが冒険王よな」と噂しながらも、デカダンスとファシズムの濁流が渦巻きはじめた大正から昭和の時世に、この男の啖呵のような生涯には心からの快拳の拍手を送ったのである。

3月18日(火)～23日(日)

	3月 18(火)	19(水)	20(祝)	21(金)	22(土)	23(日)
14:00			○		○	○
18:30	○	○	○	○	○	

開場 開演30分前・受付開始 開演60分前

ザ・スズナリ

ご入場料●前売・予約 ¥3,000 当日 ¥3,500
 全席自由●学割 ¥2,000 (学生証提示)

チケット取扱い 岡部企画 044-933-9754 ザ・スズナリ 03-3469-0511
 チケットぴあ 03-5237-9999 チケットセゾン 03-5990-9999

お問合せ 044-933-9754 (岡部企画内)

新人募集!

即、実践で鍛えます。
 演劇の醍醐味を味わってみませんか。

- 1997年度公演予定
- 7月 決定版『闇市愚連隊』 紀伊国屋ホール
 - 8月 『風の墓』 紀伊国屋サザンシアター、地方公演有
 - 10月 『元寇』 前進座劇場、関西・九州公演有

※履歴書・写真郵送下さい。〆切4月末日
 〒214 川崎市多摩区東生田1-12-7 劇団(空間演技)
 尚、電話による問い合わせはご遠慮下さい。